



がんばる Vol.7 ファーマー応援記

このコーナーは、町内でがんばっている、またはがんばろうと考えている農家を支援する農業委員の活動を紹介します。

地区担当農業委員

高久 一次委員

認定農業者 小羽入

平山 英二さん (63歳)

平山 翔太さん (27歳)

今回は、認定農業者である父親の元で平成25年4月に親元就農をして、農業経営を継いでいこうとがんばっている小羽入の平山翔太さんをご紹介します。

▼初めに、平山さんのお宅の営農状況を教えてください。

【翔太さん】水稲を約10ha作付しています。また、生産調整は約4ha牧草畑にしている、繁殖和牛を3頭飼育しています。

仕事は主に平日に行い、週末には少し休みが取れるようにやりくりをしています。自営なので、父親に相談して時間の調整ができるのも魅力です。

▼どのようなきっかけで就農したのでしょうか。

【翔太さん】幼いころから将来は農業をやりたいと考えていました。大学卒業後は教育業界に就職しながら自宅の農業を手伝っていました。2年位前から具

体的に就農について考え、昨年の4月に就農をしました。
▼就農にあたって不安はありませんでしたか。

【翔太さん】父親の農業仲間の皆さんのお付き合いから、スムーズに就農することができました。毎日田んぼに出て、日々の変化を感じるようにしています。田んぼにいと地域の方々から声を掛けていただくことがあります。地域の先輩方との雑談の中でご指導やアドバイスをいただくこともあり、そういった機会を大切に、日々勉強していきたいと思っています。

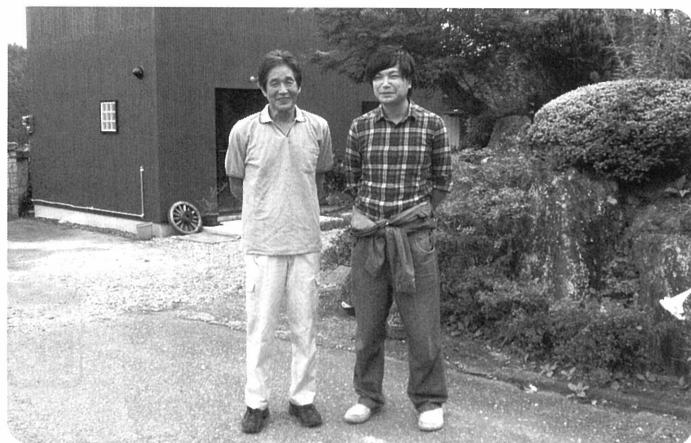
▼今後の抱負を聞かせてください。

【翔太さん】早く農業を覚えて一人前になりたいと思います。現在はほぼ水稲のみの経営ですが、水稲だけで今後も経営が成り立つか不安があります。水稲以外の作物にも興味があり、水稲だけでなく他の作物についても先進地視察等の機会があれば参加したいと考えています。

▼親元就農をされた息子さんに一言お願いします。

【英二さん】早く素敵なお嫁さんをもらって、農業経営の安定を図ってもらいたいと思います。

また、農地の権利移転等、農業を後継者に移行する際には、農業



委員、農業委員会にご相談したいと思しますので、支援をお願いします。
▼平山さん親子に一言お願いします。

【高久委員】英二さん親子はとてもコミュニケーションが取れていて、明るい家庭です。
翔太さんはまだ若いので、地域の人の話を聞いたり現地を見て経験を積み、色々なことに挑戦して欲しいと思います。